

## 《 交通安全知識テスト（飲酒運転編2） 》

下記の文章を読んで、正誤の欄に ○印 を入れて下さい。

番号	設問	正	誤
1	お酒に強い・弱いに関係なく、アルコールは脳へ影響を与える。		
2	アルコールは、発見の遅れ、反応の遅れ、操作の遅れなど、運転に悪影響を与える。		
3	酒酔い運転※は、違反点数が35点である。		
4	酒酔い運転に、懲役刑や罰金といった罰則はない。		
5	酒気帯び運転で、呼気中アルコール濃度が0.25mg/ℓ以上の場合、免許停止となる。		
6	飲酒運転は、酒類の提供者にも罰則がある。		
7	飲酒運転は、車両の同乗者への罰則はない。		
8	たとえ少しであっても酒を飲んで運転をすることは絶対にしてはならない。		

※警察庁ホームページをもとに作成

※酒酔い運転とは、アルコールの影響により車両等の正常な運転ができない状態をいう

©SSD研究所